

功 績 概 要 書

1 受賞者

住 所	山形市
氏 名	矢野 秀弥
年 齢	74 歳
現 職	株式会社山形丸魚 会長

2 受賞理由

㈱山形丸魚は創業 80 年超の県内屈指の卸売業者であり、矢野氏は、同社の会長として「安全・安心」な水産物や一般加工食品の提供を通じて地域の食を支えている。さらに、長年培ったノウハウを基に、商品提案・開発を顧客と共に進める共創型の取組みにも注力している。例年開催している「山形丸魚総合展示会」では、約 200 の企業・団体が出展し、水産品のほかに、防災用品、県産品や地元調理学校のブースなどを全国の食品バイヤーへ幅広く紹介している。

また、商工会議所活動などを通して地域経済の発展にも大きく貢献している。

3 具体的功績

- (1) ㈱山形丸魚の代表として、常に時代のニーズを的確に把握しながら、経営統合による県内最大級の水産物卸業者としての地位を確立するなど、新たな方向に進む先見性と、卓越した指導力により売上増を図りながら、新時代の卸売業を目指し社業の隆昌を実現した。現在は、同社の会長として、業界全体の発展や自社の信用力向上に寄与している。
- (2) 山形商工会議所においては、平成19年から副会頭、令和 2 年から現在に至るまでは会頭として、地域卸売業界をはじめ地域の産業が抱える課題の解決に向けた政策提言活動等に取り組んでいる。会員交流委員会では、異業種交流会を継続開催し、商談機会の創出に努めた。大沼閉店やコロナ禍では特別相談窓口を設けたほか、独自支援策の実現、情報発信の強化を図った。令和 7 年 6 月には山形大学の新学環と協定を山形市と共に締結し、DX人材の育成にも尽力している。また、「山形芸妓育成支援協議会」の設立時会長として、やまがた舞子、やまがた芸子の育成に尽力し、伝統芸能の保存・継承に大きな成果を上げている。加えて、「山形県日華親善協会」の副会長として台湾との交流促進に貢献した。
- (3) 山形県商工会議所連合会会長としては、コロナ禍において県内経済回復のための支援拡充を要望し、10年間無利子無保証料融資の実現に結び付けた。また、価格転嫁の円滑化や人材確保、特殊詐欺被害防止に関する協定締結などを通じ、地域経済の発展と安全・安心な地域社会の実現に尽力してきた。